

船舶事故調査報告書

令和2年8月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和元年12月4日 12時00分ごろ
発生場所	愛知県日間賀島東北東方沖 尾張大磯灯標から真方位115°250m付近 (概位 北緯34°42.8′ 東経137°01.3′)
事故の概要	プレジャーボートアウトレット沖繩は、北西進中、浅瀬に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和2年2月21日、主管調査官（横浜事務所）を指名原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート アウトレット沖繩、5トン未満（長さ6.97m） 235-40622三重、株式会社おきぎんリース
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船底部に擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 5、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の初期
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、愛知県田原市伊良湖港を出港し、愛知県高浜市所在のマリーナに回航する目的で日間賀島東北東方沖を北西進中、浅瀬に乗り揚げた。 船長は、本事故現場付近を航行したことがなく、また、出港前に航行予定海域の水路調査を行っていなかったため、日間賀島東北東方沖の浅瀬の存在を知らなかった。
分析	本船は、北西進中、船長が、日間賀島東北東方沖の浅瀬の存在を知らずに同浜付近を航行したことから、同浜に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、北西進中、船長が、日間賀島東北東方沖の浅瀬の存在を知らずに同浜付近を航行したため、同浜に乗り揚げたものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・航行経験がない海域を航行する場合、事前に航行予定海域の水路調査を適切に行い、障害物及び水深などを把握しておくこと。